

本紙に記載された内容は製品やOSのバージョンによって変更される場合がございます。記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。

また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される場合がございますが、付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。

他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為必ずお守りいただくことを記載しております。

	危険
	警告
	注意
	気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	してはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

ワイヤレス（無線）についての注意事項

本製品は、2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能となります。電波方式は GFSK 方式で、干渉距離は 10m です。

2.4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した際は、使用場所を変更するか、本製品の使用を停止してください。
- ※「他の無線局」とは、2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
 - ・電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところ
 - ・同じ周波数の電波を使用しているものの近く
- 本製品は、工事設計認証を受けています。以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - ・本製品を分解／改造すること
 - ・本製品の認証番号や認証ロゴ等を故意に消したりすること

警告

- 誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作や、動作の低下、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で各種電子機器や医療機器などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式機器を航空機内で使用することは、法律で禁止されています。ご搭乗前に本製品の電源は必ず切ってください。
- 本製品は、日本国内のみでの使用を対象にした製品です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社では一切の責任を負いかねます。また、弊社が提供する情報に関連して生じた、直接的、あるいは間接的損害を含むすべての損害について、責任を負うことはできませんので、自己責任のもとに弊社情報をご利用ください。

⚠ 危険

- Ⓢ ・本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- Ⓢ ・本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- Ⓢ ・本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- Ⓢ ・各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

⚠ 警告

- Ⓢ ・本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- Ⓢ ・本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- Ⓢ ・水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- Ⓢ ・液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- Ⓢ ・濡れた手で本製品に触らないでください。
- Ⓢ ・小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- Ⓢ ・プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- Ⓢ ・ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- Ⓢ ・製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

⚠ 注意

- Ⓢ ・静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- Ⓢ ・動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- Ⓢ ・以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- Ⓢ ・有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- Ⓢ ・本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- Ⓢ ・コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- Ⓢ ・使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

【Windows10、11】キーボードの配列設定変更

キーの印字通りに正しく入力できない場合は、OS 側でキーボードの配列設定変更が必要です。

例）・SHIFT + 2 を入力した際、「!”ではなく「@」が入力されてしまう
→OS 側のハードウェアキーボード設定が、「英語配列キーボード」になっている

※Windows プラグアンドプレイなどが要因となり、OS 側の設定が勝手に変更されてしまう場合があります。その際は、下記の方法で設定変更を行ってください。

設定変更には、管理者権限でサインインされている必要があります。予めご確認ください。

【変更方法】

1. 左下の Windows アイコンをタップ（キーボードのスタート「Windows」キーを押す）または画面の右端をスワイプし、アクションセンターを立ち上げます。「設定」のアイコン（歯車アイコン）をタップし、Windows の「設定」を立ち上げます。
2. 「時刻と言語」をタップします。
- Window10 の場合
3. 「地域と言語」をタップします。
4. 「言語」の「英語」をタップし、「オプション」をタップします。
5. 「ハードウェアキーボードレイアウト」の「レイアウトを変更する」をタップします。
6. 本製品は日本語 JIS 配列キーボードですので、印字通りに入力したい場合は、レイアウトの設定が「日本語キーボード（106/109 キーボード）」である必要があります。レイアウトの設定が「英語キーボード（101/102 キーボード）」になっている場合は、「日本語キーボード（106/109 キーボード）」に変更し、サインアウトします。

Window11 の場合

3. 「言語と地域」をタップします。
4. 「言語」の「日本語」の右端の“…”アイコンをタップし、「言語のオプション」をタップします。
5. キーボード欄の「キーボードレイアウト」の右端の「レイアウトを変更する」をタップします。
6. 本製品は日本語 JIS 配列キーボードですので、印字通りに入力したい場合は、レイアウトの設定が「日本語キーボード（106/109 キーボード）」である必要があります。レイアウトの設定が「英語キーボード（101/102 キーボード）」になっている場合は、「日本語キーボード（106/109 キーボード）」に変更し、サインアウトします。

- 紙面スペースの都合で、macOS 機器におけるキーボードの配列設定変更、およびBluetooth® デバイスの接続手順については割愛致します。Apple 社の WEB ページ等をご参照ください。
- iOS/iPadOS には、Windows や macOS のような、ハードウェアキーボードレイアウトの設定変更する機能(外付けキーボードの物理配列に OS を合わせる機能)はありません。

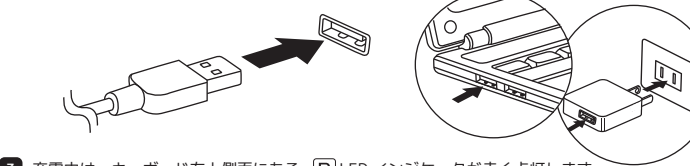
パッケージ内容

・キーボード本体 … 1 台 ・USB ケーブル (USB-C→USB-A) (約 1.5m) … 1 本
・ユーザーマニュアル 兼 保証書 (本紙) … 1 部

注意 ご使用前に、内容物がすべて揃っているかをご確認ください。
なお、梱包には万全を期しておりますが、万が一、不足品や破損品がございましたら、アーキサイトサポート窓口、またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

キーボードを充電する

- 1 付属 USB ケーブルの USB-C コネクタを、キーボードの USB-C ポートに接続します。
- 2 汎用の USB 充電器（別売）か、パソコンなどの給電が可能な USB ポートに接続します。（※USB 充電器の推奨定格電圧・電流：5V/500mA～1A 程度）



- 3 充電中は、キーボード右上側面にある、**B** LED インジケータが赤く点灯します。満充電になると消灯します。

キーボードを USB 接続で使用する

本製品は、パソコンと USB ケーブルで接続し、有線キーボードとしても使用できます。

- 1 付属の USB ケーブルをキーボードの USB-C ポートに接続します。
- 2 ケーブルの USB-A コネクタを、パソコンの USB ポートに接続します。
- 3 Fn キーを押しながら、E (ψ) キーを押し、有線接続モードにします。
- 4 接続先端末の OS に合わせて、ホットキー・修飾キー最適化を行ってください。
 - Windows10、11 の場合 ：本紙 11 ページ
 - iOS・iPadOS の場合 ：本紙 13 ページ

※市販の変換アダプタ等を用いた、iOS/iPad OS デバイスとの接続は、動作保証致しません。予めご了承ください。

※USBハブやKVMスイッチ等を経由して接続した場合、キーボードが正しく認識されない場合や、誤動作の恐れがあります。個々の相性についてはサポート致しません。予めご了承ください。

主な機能等の説明

■接続中チャンネルの確認方法（操作）※1
Fn + Z (Status) を押すと
使用中のデバイスチャンネルがどちらであるかを
確認できます。キーボード右上側面にある、
B LED インジケータが下記のように点灯します。

●デバイスチャンネル 1 を使用中の場合
… 青色で 1 回点滅→消灯

●デバイスチャンネル 2 を使用中の場合
… 青色で 2 回点滅→消灯

●デバイスチャンネル 3(USB) を使用中の場合
… 青色で 3 回点滅→消灯

■ペアリングモード開始操作
Fn + Tab を押すと、ペアリングモードに入ります

■接続デバイスチャンネルの選択と切り替え
Bluetooth® 接続の場合は最大 2 台まで、
USB 優先接続を含めると最大 3 台までの機器との接続が可能です。
ペアリング時にデバイスチャンネル 1 およびデバイスチャンネル 2 に、
それぞれ接続機器を登録することができます。

機器の切り替えは下記のキー操作で行います。
・Fn+Q (≡1) … デバイスチャンネル1に登録されたBluetooth® 機器と接続
・Fn+W (≡2) … デバイスチャンネル2に登録されたBluetooth® 機器と接続
・Fn+E (ψ) … USB で有線接続した機器と接続

■LED インジケータ

A … ①CapsLock インジケータ (ON の時、青色で点灯)
②ペアリングモードの動作
(本紙 10、12 ページ参照)

B … ①選択中のデバイスのチャンネル確認
(本紙 7 ページ※1 参照)
②充電状態 (本紙 5 ページ参照)

■Bluetooth® 接続時のキーボード省電力 (スリープ) モードについて
電源を ON の状態で、30 分程度使用しないしていると、キーボードが
自動的に省電力 (スリープ) モードに切り替わります。
スリープ解除は、いずれかのキーを 1 ～ 2 秒間長押ししてください。

キーボードの電源を ON にする (Bluetooth® 接続の場合)

本製品を Bluetooth® 接続で使用する場合は、右上側面にある電源スイッチを ON にする必要があります。USB 有線接続の際は、電源は OFF の状態でかまいません。

Bluetooth® ペアリングの操作方法に関しては、下記をご覧ください。

- Windows10、11 の場合 ：本紙 9 ～ 10 ページ
- iOS・iPadOS の場合 ：本紙 12 ページ

■紙面スペースの都合で、macOS 機器におけるキーボードの配列設定変更、およびBluetooth® デバイスの接続手順については割愛致します。Apple 社の WEB ページ等をご参照ください。

ペアリング・無線接続における注意点（※必ずご確認ください）

・WindowsUpdate など OS のバージョンアップ等の後に、OS 側の仕様でペアリング情報が消去される場合があります。以前のペアリング情報を削除し、パソコン・タブレット等の再起動を行ったのちに、ペアリング作業を再度やり直してください。

・USB ドングルタイプの受信機を使って、本製品とのペアリング・接続を行う際は、USB2.0 ポートドングルを接続してください。USB3.0 ポートに接続した場合、電波干渉が発生し、接続が不安定になったり、接続できない場合があります。

・接続先のパソコン等と本製品の間に遮蔽物、特に磁性体（鉄の机など）がある場合、接続が不安定（例：文字が入力され続けるなど）になったり、接続できない場合があります。接続先機器と本製品の間に、できるだけ遮蔽物を置かずにご使用ください。

・接続先のパソコン等が、Wi-Fi の 2.4GHz 帯を利用している場合、混線が発生して、接続が不安定（例：文字が入力され続けるなど）になったり、接続できない場合があります。そういった場合は、一旦接続先機器の Wi-Fi を OFF にするか、5 GHz 帯などの周波数帯での接続に切り替えてお試しください。

・Windows10、11 パソコンの場合、パソコンの再起動した際、それまで使用可能だった本製品が突然動作しなくなったり、意図せずに接続が切断・スリープ状態になったり、再接続できなくなったりする場合があります。その際は、OS 側で“Bluetooth® の省電力設定”を OFF にしたり、USB ドングルタイプの受信機を使用している場合は、“USB のセレクトティブサスペンド”を無効にしてください。

- 6 -

- 7 -

- 8 -

